

令和元年度尾張北部地域（第1小ブロック）循環型社会形成推進地域計画の進捗状況の公表について

平成29年4月1日から令和4年3月31日までの5年間を計画期間としている尾張北部地域（第1小ブロック）循環型社会形成推進地域計画について、令和元年度実績における計画の進捗状況は以下のとおりです。

1 目標に対する進捗状況
（ごみ処理）

【尾張北部地域（第1小ブロック）】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(令和元年度)		(令和4年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	15,104 トン		14,638 トン	(-3.1%)	14,274 トン	(-5.5%)
	1 事業所当たりの排出量 ^{※2}	1.79 トン/事業所		1.77 トン/事業所	(-1.1%)	1.69 トン/事業所	(-5.6%)
	生活系 総排出量 ②	49,637 トン		48,402 トン	(-2.5%)	47,499 トン	(-4.3%)
	1 人当たりの排出量 ^{※3}	163 kg/人		163 kg/人	(0.0%)	158 kg/人	(-3.1%)
	集団回収量 ③	5,254 トン		4,090 トン	(-22.2%)	5,597 トン	(6.5%)
	排出量合計 ①+②=④	64,741 トン		63,040 トン	(-2.6%)	61,773 トン	(-4.6%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	69,995 トン		67,130 トン	(-4.1%)	67,370 トン	(-3.8%)
再生利用量	直接資源化量	3,111 トン	(4.8%)	2,579 トン	(4.1%)	2,927 トン	(4.7%)
	総資源化量	13,389 トン	(20.7%)	10,623 トン	(16.9%)	13,137 トン	(21.3%)
	総資源化量(集団回収量含む)	18,643 トン	(26.6%)	14,712 トン	(21.9%)	18,734 トン	(27.8%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	—		—		0 MWh ^{※4} 0 GJ ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	45,061 トン	(69.6%)	46,120 トン	(73.2%)	42,694 トン	(69.1%)
最終処分量	埋立最終処分量	6,291 トン	(9.7%)	6,297 トン	(10.0%)	5,942 トン	(9.6%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量(④)に対する割合

ただし、総資源化量(集団回収量含む)については総排出量合計(⑤)に対する割合

※2 (1 事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※3 (1 人当たりの排出量) = { (生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

※4 熱回収を行う新ごみ処理施設の供用開始は令和7年度の予定

《用語の定義》

排出量 : 事業系、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く)[単位: トン]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位: トン]

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力量[単位: MWh]及び熱利用量[単位: GJ]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残さ量の差[単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量[単位: トン]

【大山市】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(令和元年度)		(令和4年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	6,071 ト		5,355 ト	(-11.8%)	5,675 ト	(-6.5%)
	1 事業所当たりの排出量	2.26 ト/事業所		2.06 ト/事業所	(-8.8%)	2.11 ト/事業所	(-6.6%)
	生活系 総排出量 ②	16,172 ト		15,648 ト	(-3.2%)	15,072 ト	(-6.8%)
	1 人当たりの排出量	168 kg/人		172 kg/人	(2.4%)	164 kg/人	(-2.4%)
	集団回収量 ③	1,518 ト		1,118 ト	(-26.4%)	1,346 ト	(-11.3%)
	排出量合計 ①+②=④	22,243 ト		21,003 ト	(-5.6%)	20,747 ト	(-6.7%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	23,761 ト		22,121 ト	(-6.9%)	22,093 ト	(-7.0%)
再生利用量	直接資源化量	3,085 ト	(13.9%)	2,465 ト	(11.7%)	2,900 ト	(14.0%)
	総資源化量	3,887 ト	(17.5%)	3,373 ト	(16.1%)	3,650 ト	(17.6%)
	総資源化量(集団回収量含む)	5,405 ト	(22.7%)	4,491 ト	(20.3%)	4,996 ト	(22.6%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	—		—		0 MWh ^{※4} 0 GJ ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	15,567 ト	(70.0%)	14,907 ト	(71.0%)	14,496 ト	(69.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	2,789 ト	(12.5%)	2,723 ト	(13.0%)	2,601 ト	(12.5%)

【江南市】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(令和元年度)		(令和4年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	5,305 ト		5,136 ト	(-3.2%)	4,871 ト	(-8.2%)
	1 事業所当たりの排出量	1.47 ト/事業所		1.41 ト/事業所	(-4.4%)	1.35 ト/事業所	(-8.2%)
	生活系 総排出量 ②	20,874 ト		20,446 ト	(-2.1%)	19,971 ト	(-4.3%)
	1 人当たりの排出量	159 kg/人		157 kg/人	(-1.4%)	156 kg/人	(-1.9%)
	集団回収量 ③	2,018 ト		1,428 ト	(-29.2%)	2,220 ト	(10.0%)
	排出量合計 ①+②=④	26,179 ト		25,581 ト	(-2.3%)	24,842 ト	(-5.1%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	28,197 ト		27,009 ト	(-4.2%)	27,062 ト	(-4.0%)
再生利用量	直接資源化量	0 ト	(0.0%)	92 ト	(0.4%)	0 ト	(0.0%)
	総資源化量	5,600 ト	(21.4%)	3,912 ト	(15.3%)	5,424 ト	(21.8%)
	総資源化量(集団回収量含む)	7,618 ト	(27.0%)	5,340 ト	(19.8%)	7,644 ト	(28.2%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	—		—		0 MWh ^{※4} 0 GJ ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	18,386 ト	(70.2%)	19,481 ト	(76.2%)	17,353 ト	(69.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	2,193 ト	(8.4%)	2,187 ト	(8.6%)	2,065 ト	(8.3%)

【大口町】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(令和元年度)		(令和4年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	2,246 ト		2,384 ト	(6.1%)	2,100 ト	(-6.5%)
	1 事業所当たりの排出量	2.33 ト/事業所		2.59 ト/事業所	(11.0%)	2.18 ト/事業所	(-6.4%)
	生活系 総排出量 ②	5,537 ト		5,476 ト	(-1.1%)	5,675 ト	(2.5%)
	1 人当たりの排出量	153 kg/人		156 kg/人	(1.8%)	149 kg/人	(-2.6%)
	集団回収量 ③	1,160 ト		1,164 ト	(0.3%)	1,190 ト	(2.6%)
	排出量合計 ①+②=④	7,783 ト		7,860 ト	(1.0%)	7,775 ト	(-0.1%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	8,943 ト		9,024 ト	(0.9%)	8,965 ト	(0.2%)
再生利用量	直接資源化量	0 ト	(0.0%)	0 ト	(0.0%)	0 ト	(0.0%)
	総資源化量	2,449 ト	(31.5%)	2,115 ト	(26.9%)	2,569 ト	(33.0%)
	総資源化量(集団回収量含む)	3,609 ト	(40.4%)	3,279 ト	(36.3%)	3,759 ト	(41.9%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	—		—		0 MWh ^{※4} 0 GJ ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	4,739 ト	(60.9%)	5,123 ト	(65.2%)	4,628 ト	(59.5%)
最終処分量	埋立最終処分量	595 ト	(7.6%)	622 ト	(7.9%)	578 ト	(7.4%)

【扶桑町】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(令和元年度)		(令和4年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	1,482 ト		1,764 ト	(19.0%)	1,628 ト	(9.9%)
	1 事業所当たりの排出量	1.26 ト/事業所		1.59 ト/事業所	(26.4%)	1.38 ト/事業所	(9.5%)
	生活系 総排出量 ②	7,054 ト		6,832 ト	(-3.1%)	6,781 ト	(-3.9%)
	1 人当たりの排出量	168 kg/人		162 kg/人	(-3.6%)	160 kg/人	(-4.8%)
	集団回収量 ③	558 ト		380 ト	(-31.9%)	841 ト	(50.7%)
	排出量合計 ①+②=④	8,536 ト		8,596 ト	(0.7%)	8,409 ト	(-1.5%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	9,094 ト		8,976 ト	(-1.3%)	9,250 ト	(1.7%)
再生利用量	直接資源化量	26 ト	(0.3%)	22 ト	(0.3%)	27 ト	(0.3%)
	総資源化量	1,453 ト	(17.0%)	1,222 ト	(14.2%)	1,494 ト	(17.8%)
	総資源化量(集団回収量含む)	2,011 ト	(22.1%)	1,602 ト	(17.8%)	2,335 ト	(25.2%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	—		—		0 MWh ^{※4} 0 GJ ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	6,369 ト	(74.6%)	6,609 ト	(76.9%)	6,217 ト	(73.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	714 ト	(8.4%)	765 ト	(8.9%)	698 ト	(8.3%)

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		施策の実施状況					
					開始	終了	犬山市	江南市	大口町	扶桑町	江南丹羽環境管理組合	尾張北部環境組合
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	処理手数料の適正化(有料化の検討)	ごみ処理費用負担の適正化	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・構成自治体の指定ごみ袋の統一及び有料化の検討	・近隣市町の動向を見つつ、調査研究を実施	・有料化の実施	・事業系ごみの処理手数料について、近隣市町の動向を見つつ、調査研究を実施	・廃棄物処理手数料については、近隣施設の動向を見つつ、調査研究を実施	
	12	環境教育、環境学習の推進・啓発	出前講座等の実施、小学生向けの副読本の作成、環境施設見学会の実施、住民・事業者への情報提供等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・出前講座の実施、小学生向けの副読本の作成及びごみ処理施設見学会の実施 ・スマートフォンに対応したごみ分別アプリを導入(ごみ出し日の通知機能、分別区分の検索機能等) ・ごみ収集カレンダー・ごみ分別アプリ・指定ごみ袋の多言語表示	・要望のあった地区や保育園・小学校への出前講座の実施 ・小学生の環境美化センターの施設見学の実施 ・親子でリサイクルについて学ぶための施設見学の実施 ・大人がリサイクルやごみ処理について学ぶための施設見学を実施 ・要望のあった各区・町へのごみ減量懇談会の実施	・毎年3月に一部地域において、ごみ分別の出前講座を実施 ・小学生の資源リサイクルセンターの見学	・地区等からの申請に基づき、出前講座を町内3地区(3回)で実施 ・小学校3年、4年生向けの副読本に、ごみの処理と利用について記載 ・環境美化センターの見学学習に4小学校337人、地区衛生委員31人が参加 ・資源やごみの分別・収集日について、住民に配布される年間カレンダーや、広報紙、ホームページに記載 ・地球環境保護宣言事業において環境映画の上映を実施し、640名が参加 ・地球環境保護ポスター作品展を実施し、360点の応募を受け、20点を展示	・ごみ処理施設及び最終処分場の施設見学会を実施 ・施設の安全性、ごみの適正処理をPRするため、施設周辺に生息する野生動物の生体、写真を展示するとともに、地域の自然誌資料(標本)を収集保存し、施設見学時に活用	
	13	発生抑制	生ごみの減量及びリサイクルの推進、レジ袋削減への取り組み、食品ロス削減の推進等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・食品ロス削減のための3010運動の推進 ・事業系ごみ削減のための事業系ごみ分別リーフレットを配布 ・剪定樹木粉碎機の貸出 ・生ごみ処理機購入費への助成	・生ごみ処理機等の補助金の交付 ・市内スーパー等とレジ袋削減について協定の締結を実施 ・食品ロス削減のため、3010運動の推進、フードドライブの実施	・一部地域において、生ごみの堆肥化事業を実施 ・生ごみ処理機の助成金 ・剪定枝・草の拠点回収 ・レジ袋有料化の取り組みを実施	・生ごみ処理機等購入補助事業において、生ごみ堆肥化容器11基の購入に対して助成 ・町内店舗4件において、レジ袋の有料化の実施 ・食品ロスの削減について、広報紙に記載 ・町内事業者に対し、事業系ごみの減量及びリサイクルについてのパンフレットを配布し、指導・案内の実施		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	14	再使用・資源化の取り組みの推進	不用品交換情報の広報等への掲載や市民団体等へのフリーマーケット等の開催支援、集団回収活動に対する奨励金(助成金)制度による資源回収の推進、常設の資源回収拠点の設置等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・わん丸リサイクル小屋及び産業振興祭でのリサイクル家具等の安価譲渡 ・資源回収奨励金対象者の拡大 ・廃食用油の回収 ・羽毛ふとんの回収	・不用品交換を斡旋するリサイクルバンク事業を毎月広報及びホームページへ掲載 ・環境フェスタ江南においてフリーマーケットを実施 ・市内で資源ごみを回収している団体へ助成金の交付 ・常設のリサイクルステーション及び資源ごみ(紙類)回収ボックスの設置	・集団回収活動に対する助成金を実施 ・一部の地域における資源ごみの常時回収を実施 ・食品ロス削減のためフードドライブを開催	・市民団体による、毎月1回開催したリユースショップや、東日本大震災復興みちのく未来基金応援企画としてのリユースショップ、年2回開催したフリーマーケットに対し、支援を実施 ・廃品再利用コンテスト作品展を実施し、44点を展示 ・資源ごみ集団回収事業奨励金交付事業において、380トンの資源回収に対して補助 ・常設の資源ごみ回収拠点において、年間21,682人が利用	・ごみ搬入検査を実施し、資源ごみ混入状況を把握し、分別指導に活用	

処理体制の構築、変更に関するもの	21	収集運搬	ごみ出し、収集に対する体制の検討	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・新ごみ処理施設に搬入する分別区分及び運搬ルートの検討 ・ごみ集積場環境整備事業（ネットステーションの配布等）の創設 ・スプレー缶類の排出方法を穴開け不要に変更	・市民の意見・要望をまとめ、調査研究を実施	・可燃ごみ袋の戸出しを集約し、まとめ、収集効率を上げる	・2市2町で新ごみ処理施設建設に係る作業部会を開き、分別区分の統一などを検討		
処理施設の整備に関するもの	1	粗大ごみ処理施設の整備		尾張北部環境組合	R 1	R 3						・用地取得の実施
	2	ごみ処理施設の整備		尾張北部環境組合	R 1	R 3						・用地取得の実施
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	事業番号1、2に係る環境影響評価等業務	環境影響評価等	尾張北部環境組合	H29	R 3						・環境影響評価における方法書手続き及び現地調査を実施
		事業番号1、2に係る施設基本設計等業務	施設基本設計等	尾張北部環境組合	R 1	R 1						・基本設計及び造成計画等を策定
その他	41	不法投棄対策	不法投棄防止パトロールの実施等による不法投棄の監視体制の強化	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・不法投棄防止のための監視カメラの設置及びパトロールの実施 ・不法投棄の通報があった場合の土地占有者責任の説明及び対応	・要望があった場合には防犯カメラの貸出及びパトロールを実施	・環境保全委員による監視活動を実施	・不法投棄監視ウィークに、河川の不法投棄物の監視等を実施 ・扶桑町環境保全推進委員や、愛知県地域環境保全委員による不法投棄の監視を実施		
	42	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害時の廃棄物処理計画の策定、円滑かつ適正に処理できる体制の整備	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・災害廃棄物処理計画の策定	・令和元年度に災害廃棄物処理計画を策定 ・災害時における協定を関係各社等と締結	・令和2年度災害廃棄物処理計画の策定予定	・災害廃棄物処理計画の策定に向けた準備		

3 目標に対する進捗状況に関する評価

○排出量

排出量については、令和元年度実績では以下のとおり目標に達していない状況となっている。引き続き、住民・事業者に対して発生規制に関する周知啓発を図るよう努めていくものとする。

- ・排出量合計は、目標の 61,773 トンに対して令和元年度実績が 63,040 トンであり目標に達していない。
- ・事業系については、総排出量が目標の 14,274 トンに対して令和元年度実績が 14,638 トン、事業系資源ごみを除いた 1 事業所当たりの排出量が目標の 1.69 トン/所に対して 1.77 トン/所であり目標に達していない。
- ・生活系については、総排出量が目標の 47,499 トンに対して令和元年度実績が 48,402 トン、生活系資源ごみを除いた 1 人当たりの排出量が目標の 158 kg/人に対して 163 kg/人であり目標に達していない。

○再生利用量

再生利用量については、令和元年度実績では以下のとおり目標に達していない状況となっている。引き続き、環境教育、啓発活動の充実を推進するとともに、新たな資源回収拠点の開設等により、市民の資源排出機会を増加させるよう努めていくものとする。

- ・直接資源化量は、目標の 2,927 トン（排出量に対する割合 4.7%）に対して令和元年度実績が 2,579 トン（排出量に対する割合 4.1%）であり目標に達していない。
- ・総資源化量は、目標の 13,137 トン（排出量に対する割合 21.3%）に対して令和元年度実績が 10,623 トン（排出量に対する割合 16.9%）であり目標に達していない。

○熱回収量

熱回収量については、既存施設では実施しておらず、令和 7 年度から供用開始予定の新ごみ処理施設において行う予定としている。

○減量化量

減量化量については、目標の 42,694 トン（排出量に対する割合 69.1%）に対して令和元年度実績が 46,120 トン（排出量に対する割合 73.2%）であり目標に達している。引き続き、処理施設において、より効率的な処理を行えるよう施設を運営していく。

○最終処分量

最終処分量は目標の 5,942 トン（排出量に対する割合 9.6%）に対して令和元年度実績が 6,297 トン（排出量に対する割合 10.0%）であり目標に達していない状況になっている。引き続き、処理施設において、より効率的な処理を行えるよう施設を運営していく。